

# TOSHIBA

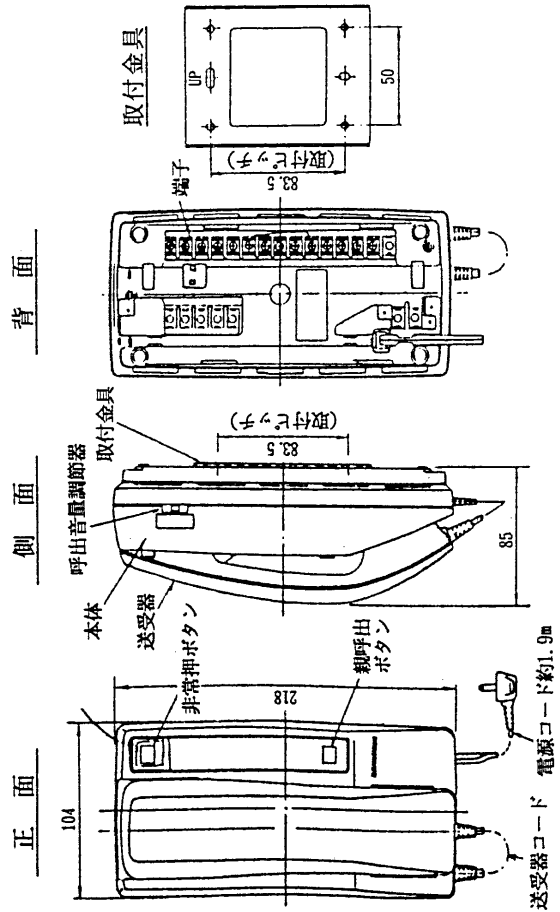
## 東芝インターホン取扱説明書

### セキュリティドアホン 非常警報付

### HTS-2PB

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

#### 各部のなまえと大きさ (単位: mm)



#### 特にご注意を

- ・ 本体はあけないでください。
- ・ 親機の電源は必ずAC100Vのコネセントに接続してください。

#### 組み合わせ接続例

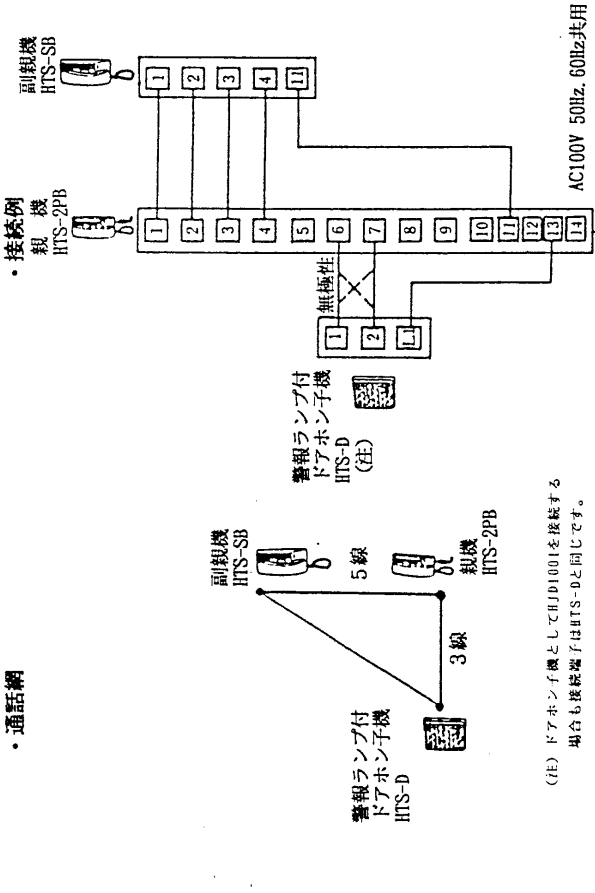
##### ■ 端子番号の説明

- 1 副親機に接続して使用する端子。
- 2 副親機に接続して使用する端子。
- 3 副親機に接続して使用する端子。
- 4 副親機がドアホン子機および外設押ボタンから呼び出し音を鳴らしたく、呼び出し音が副親機に伝わるように副親機の端子に接続する端子。
- 5 ドアホン子機を接続する端子 (無極性)。
- 6 外設押ボタン (別売) を接続する端子 (無極性)。
- 7 呼出増設用スピーカを接続する端子 (無極性)。
- 8 増設非常用押ボタンを接続する端子 (無極性)。
- 9 副親機へ接続する端子 (無極性)。
- 10 副親機へ接続する端子 (無極性)。
- 11 副親機へ接続する端子 (無極性)。
- 12 副親機へ接続する端子 (無極性)。
- 13 副親機へ接続する端子 (無極性)。
- 14 副親機へ接続する端子 (無極性)。

##### ■ 組み合わせ使用できる機器

標準形	1台のみ
ドアホン子機	HTA-D, HJD1002, HTS50A
副親機	HTS-D, HJD1001, HTS-DA, HJD1001A
警報ランプ	ITL-12A (ITL-12は使用できません) ... 1台のみ
増設非常用押ボタン	DS3532, DG1612 ... 任意数 (並列接続)
呼出増設用スピーカ	HJS1001 ... 1台のみ
外設押ボタン	DBN4300 ... 任意数 (並列接続)
副親機	HTS-SB ... 最大2台 (並列接続)

#### ■ 親機1台、副親機1台と、ドアホン子機1台を接続するとき

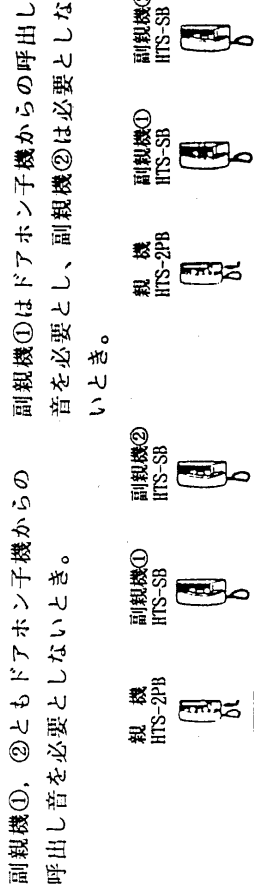


- ・ 親機と副親機の両方で受けられます。(ドアホン子機からの呼び出しは親機と副親機の両方に伝われます)
- ・ 親機の端子には極性はありませんので点線のような配線でもさしつかえありません。
- ・ 親機に副親機2台 (並列接続)、警報ランプ付ドアホン子機1台、外設押ボタン1台、増設非常用押ボタン1台、警報ランプ1台、呼出増設用スピーカ1台を接続するとき

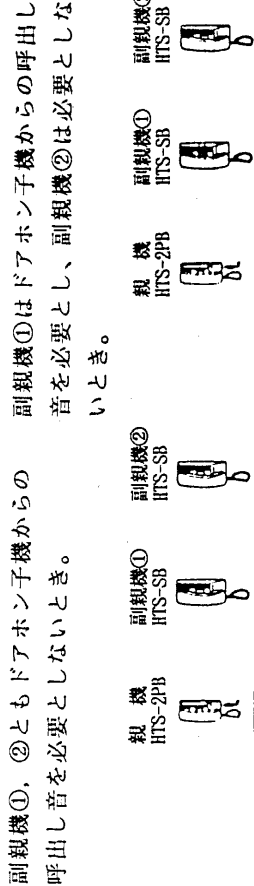
#### ■ ドアホン子機、外設押ボタンからの呼び出し音を副親機から出さないようにするには

副親機がドアホン子機、外設押ボタンからの呼び出し音を必要としないときは、親機の端子に副親機の端子を接続します。

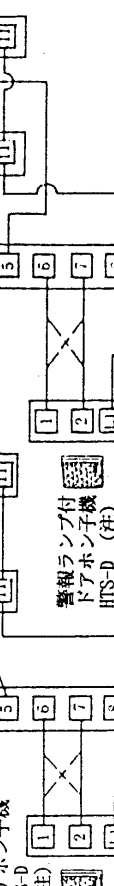
##### (例1)



##### (例2)



#### ■ 1個用スイッチボックスに取り付けるとき



取付金具を付属のねじ (さら小ねじ M4 x 30mm プラマイ) 2本ですでに取り付けられている1個用スイッチボックスに「U P ↑」を上にして取り付けます。

配線したのち、取付金具のつめに本体の底ぶたの引掛穴を合わせて本体を押し込み、

下方へ引いてください。

正しく取り付けられたか手前に引いて確かめてください。(はずれなければ取付完了です)

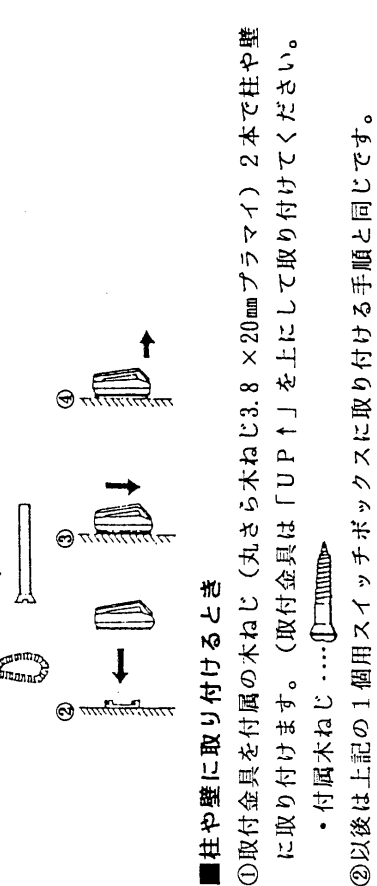
#### 取り付けかた

##### ■ 1個用スイッチボックスに取り付けるとき

- 取付金具を付属のねじ (さら小ねじ M4 x 30mm プラマイ) 2本ですでに取り付けられている1個用スイッチボックスに「U P ↑」を上にして取り付けます。
- 配線したのち、取付金具のつめに本体の底ぶたの引掛穴を合わせて本体を押し込み、
- 下方へ引いてください。
- 正しく取り付けられたか手前に引いて確かめてください。(はずれなければ取付完了です)

##### ■ 柱や壁に取り付けるとき

- 取付金具を付属の木ねじ (丸さら木ねじ 3.8 x 20mm プラマイ) 2本で柱や壁に取り付けます。(取付金具は「U P ↑」を上にして取り付けてください)
- 付属木ねじ ...

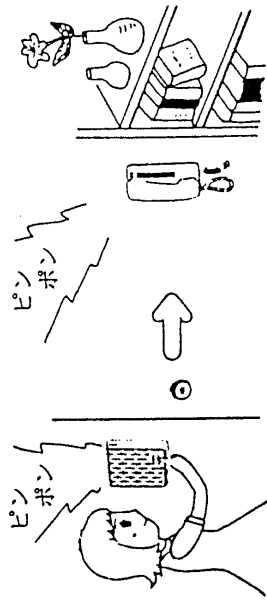


工事が終了しましたらこの取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ

## 使いかた

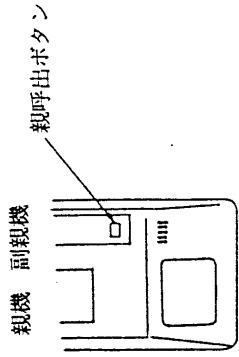
■ ドアホン子機から親機、副親機の呼出し  
 ドアホン子機のボタンを押すと親機、副親機で呼出し音（ピンポン）が鳴ります。（このとき子機側にも呼出し音が小さく聞こえ、呼出し音が確認できます。）



■ ドアホン子機から呼ばれたら  
 呼出し音がピンポンと鳴りましたら送受器をとり上げてそのままお話しください。自動選局方式ですので呼び出したドアホン子機と自動的につながります。

■ ドアホン子機との通話を他の親機または副親機へ転送するとき

- ① ドアホン子機側へ転送することを伝えます。
- ② 「親呼出」ボタンを押して、親機または副親機を呼び出し、来客のあることを知らせます。（このときドアホン子機との回線は切れます。）



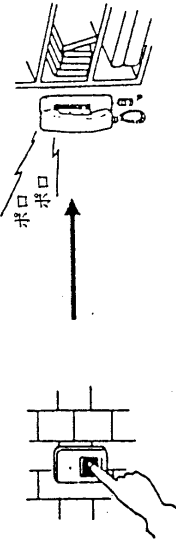
- ③ 親器と副親器の両方とも1度送受器を掛けます。
- ④ 通話する親機または副親機は再度送受器をとり上げます。ドアホン子機とつながりますのでお話しください。

■ 親機からドアホン子機を呼び出すとき

- ・親機または副親機が送受器をとり上げますと、自動的にドアホン子機とつながりますので、直接音声で相手呼び出してください。

■ 外設押ボタンから親機の呼出し

- 別売の押ボタン（DBN4300）をご使用になりますと、親機を軽快なトレモロ音（ポロポロ…）で呼び出します。（通話はできません）



## 親機と副親機の呼出し

- ・送受器をとり上げ、通話中でないことを確かめてから「親呼出」ボタンを押してください。
- ・押している間だけ相手側に呼出し音（ビー）が鳴ります。
- ・親機1台と副親機2台を使用するときは、相手の2台から呼出し音（ビー）が鳴りますのであらかじめ呼出し方法をモース信号の要領で決めておきますと便利です。（たとえば居間は連続（ビー）、寝室は断続（ビービー）など）

### ご注意

- ・親機または副親機が待受状態から送受器をとり上げますと、ドアホン子機とつながっており、ご注意ください。なお、室内間の通話のために親機、副親機のどちらかが「親呼出」ボタンを押しますと、ドアホン子機回線は切れます。親機間の通話はドアホン子機には聞こえません。

### 「ビー」と呼ばれたら

- ・「ビー」と呼ばれたら送受器をとり上げてそのままお話しください。

### 通話中に「ピンポン」または「ポロポロ」と小さく聞こえたら

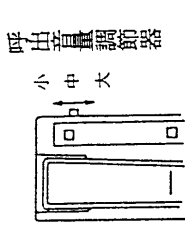
- ・ドアホン子機または外設押ボタンから呼ばれていることを示します。
- ・呼出し音の音色により相手を識別し、「ピンポン」のときは親機、副親機とも1度送受器を掛けたのち再度とり上げてドアホン子機とお話しください。

### 通話が終わったら

- ・送受器を正しく掛けてください。送受器を正しく掛けませんとスイッチが動かず、呼ばれても呼出し音が鳴りません。

### 呼出し音量の調節は

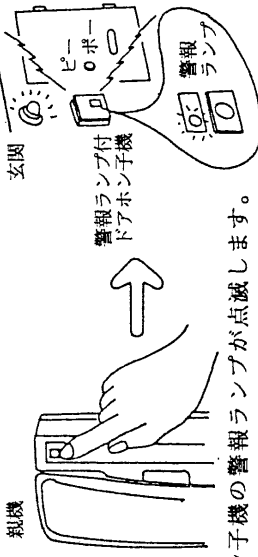
- ・本体右側面の呼出音量調節器のつまみを動かし、適当な音量に調節してください。このとき呼出増設用スピーカ（HJS1001）が接続されていればこの呼出音量も同時に調節されます。



## 非常時の使いかた

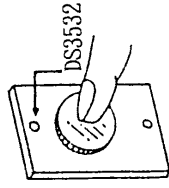
### ……………警報音の鳴らしかた……………

- 親機、副親機のつかいかた
  - ・親機または副親機の非常押ボタンをカバーごと押しこむと、ドアホン子機から警報音（ピーポー）が鳴り続けます。非常押ボタンをもう一度押しこむと復旧させれば警報音は停止します。送受器は掛けたままでも、はずした状態でも警報音は鳴ります。
  - ・ドアホン子機としてはいほうランプ付ドアホン子機（HTS-D, HJD 1001）をご使用の場合はドアホン子機の警報ランプが点滅します。また警報ランプ（ITL-12A）W/O接続している場合は警報ランプも同時に点滅します。
  - ・警報音が停止しますとこれらのランプは消灯します。



### ご注意

- ・親機、副親機呼出増設用スピーカからは警報音は鳴りません。
- ・警報音が鳴っているあいだは、呼出し・通話はできません。
- 増設非常用押ボタンのつかいかた
  - ・増設非常用押ボタン（DS3532, DG1612）を接続してある場合は、この押ボタンを押すことにより、親機、副親機以外の場所から警報音の起動ができます。押しボタンをもとの位置に復旧しますと警報音は停止します。



中央の保護カバーを破って押しボタンを押します。

お客様はお読みになったあとにも必ず保存してください。

## ご注意とお願い

このインターホンは屋内専用で -10℃～50℃の温度範囲で使用するように設計してつくられています。つぎの場所には取り付けしないでください。

- ・ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・製氷倉庫など -10℃以下になる場所。
- ・浴室など特に湿度の高い場所。
- ・有害ガスやいろいろなほこりの特に多い場所。
- ・水や薬品がかかるとおそれのある場所。

## お手入れのしかた

- ・本体や送受器はやわらかな布でからぶきしてください。
- ・汚れがひどいときは石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- ・機器をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ親機の電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝消費者相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名（HTS-2PB）およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

## 仕様

- ・通話方式 電話形同時通話方式
- ・電源 親機AC100V 50Hz, 60Hz共用
- ・消費電力 待受時 1.3W, 最大時 7W
- ・呼出信号 ドアホン子機：電子チャイム音  
 外設押ボタン：電子トレモロ音  
 室内間：電子発振音（3段切替方式）
- ・警報信号 電子警報音（ピーポー）  
 （警報ランプおよび警報ランプ付ドアホン子機を使用のときは、ランプがフリッカ点灯子機の前50cmで90ホン以上）
- ・配線本数 親機-ドアホン子機間：3線（有極性：警報ランプ付の場合）  
 2線（無極性：標準形の場合）  
 親機-呼出増設用スピーカ間：2線（無極性）  
 親機-警報ランプ間：2線（無極性）  
 親機-増設非常用押ボタン間：2線（無極性）  
 親機-副親機間：5線（無極性）
- ・通達距離

線種 (本/mm)	公称断面積		2mm <sup>2</sup>	
	より線	0.3mm <sup>2</sup>	0.75mm <sup>2</sup>	37/0.26
①：親機-ドアホン子機間	150以下	300以下	1.0	1.6
②：親機-副親機間	150以下	300以下	1000以下	1000以下
③：+②の合計距離	150以下	300以下	1000以下	1000以下
親機-呼出増設用スピーカ間	150以下	300以下	1000以下	1000以下
親機-増設非常用押ボタン間	150以下	300以下	1000以下	1000以下
親機-警報ランプ間	150以下	300以下	1000以下	1000以下
親機-外設用ボタン間	150以下	300以下	1000以下	1000以下

- ・色 本体：オフホワイト
- ・材質 プラスチック（ABS樹脂）